

# 平成 29 年度第 2 回唐津市行政改革推進会議 会議概要

## (平成 30 年 3 月 28 日開催)

### 1 会議での主な意見・提案等

#### ○ 重点取組 1 行政需要に対し柔軟に機能する組織の構築

- ・機構改革にあたっては、市民に分かりやすい組織にしたほうがよい。
- ・各種計画を策定される際にパブコメを実施しているが、縦割りのため他の部署の計画と整合性のとれていないものが多い。素案策定の段階でしっかりとすり合わせをする必要がある。

#### ○ 重点取組 2 職員の能力開発（人材育成）及び有効活用

- ・どの職場でも人材が最も重要な資源であり、その育成に力を入れなければ、人も企業も成長しない。
- ・糸島市では外部から非常勤の心理カウンセラーの配置を検討している。評価以前に、職員がしっかりと働ける職場づくりも重要。
- ・他市では政策決定にもっと女性の意見を取り入れるという視点で研修を実施されているところもあり、唐津でもさらに踏み込んだ取り組みが必要。

#### ○ 重点取組 3 行政評価を中心とした PDCA サイクルの強化及び行政事務の省力化

- ・省力化を進めるのもよいが、必要な部署に人材が配置されていない。
- ・人員が不足している状況ではあるが、省力化を進めることで市民サービスの低下にならないよう十分に注意する必要がある。

#### ○ 重点取組 4 公共施設の適正配置及び管理運営手法の検討

- ・火葬場の統廃合に関する議論があったように、公共施設の廃止は覚悟をもって進めなければならない。
- ・廃止した施設の有効活用についても、先進事例等があるため、参考にしながら検討すべき。

#### ○ 重点取組 5 市民参画意識の醸成及び市民協働事業の推進

- ・市民協働のまちづくり交付金については地域の一部の人にしか知られていない。隅々まで周知できれば、もっとよいアイデアが出てくるかもしれない。
- ・対象地域内の人口や世帯数に関わらず一律同額となっているが、交付額の配分については検討の余地がある。
- ・対象地域の範囲が広すぎる。日頃から顔を合わせ、付き合いがあるくらいの単位にしたほうがよい。
- ・事業の活用状況や成果をもっと PR することで、制度の認知度が高まり、事業効果のさらなる改善につながる。

### 2 今後の対応

- ・会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。